

第9回常磐公園改修事業基本計画検討懇談会

- ・常磐公園改修事業基本計画
(河川空間ぬき)について
- ・緑の計画について

平成24年8月9日(木) 10:00～

旭川市職員会館 3階 6号室

旭川市土木部公園みどり課

スケジュール

第8回
常磐公園改修事業
基本計画検討
懇談会

5月17日

- 緑の計画(案)について
市民アンケート結果報告
緑の計画内容の最終確認
- 常磐公園改修事業基本計画(案)について
(河川空間ぬき)
ゾーニング計画, 個別計画

パブリック
コメント

6月18日～7月17日
「常磐公園改修事業基本計画」(案)
(河川空間ぬき)

第9回
常磐公園改修事業
基本計画検討
懇談会

8月9日

- 常磐公園改修事業基本計画(案)について
(河川空間ぬき)
ゾーニング計画, 個別計画
- 緑の計画について

8月 「常磐公園改修事業基本計画」策定
(河川空間ぬき)

河川空間検討の別ステージについて

| | H24.8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----------------|---|------|------|-------|----------------|
| 検討懇談会 | 常磐公園改修事業基本計画(案)について 市民アンケート結果報告 緑の計画内容の最終確認 | | | | |
| 河川空間検討 別ステージ | 経過報告 | 参考意見 | 素案策定 | | 常磐公園改修事業基本計画策定 |
| パブリックコメント | | | | 市民説明会 | |
| 市民説明会 | | | | パブコメ | |

構成

樹木の専門家(複数)・都市計画, 景観の専門家・生態学の専門家・河川管理者・公園指定管理者・旭川市等

検討内容

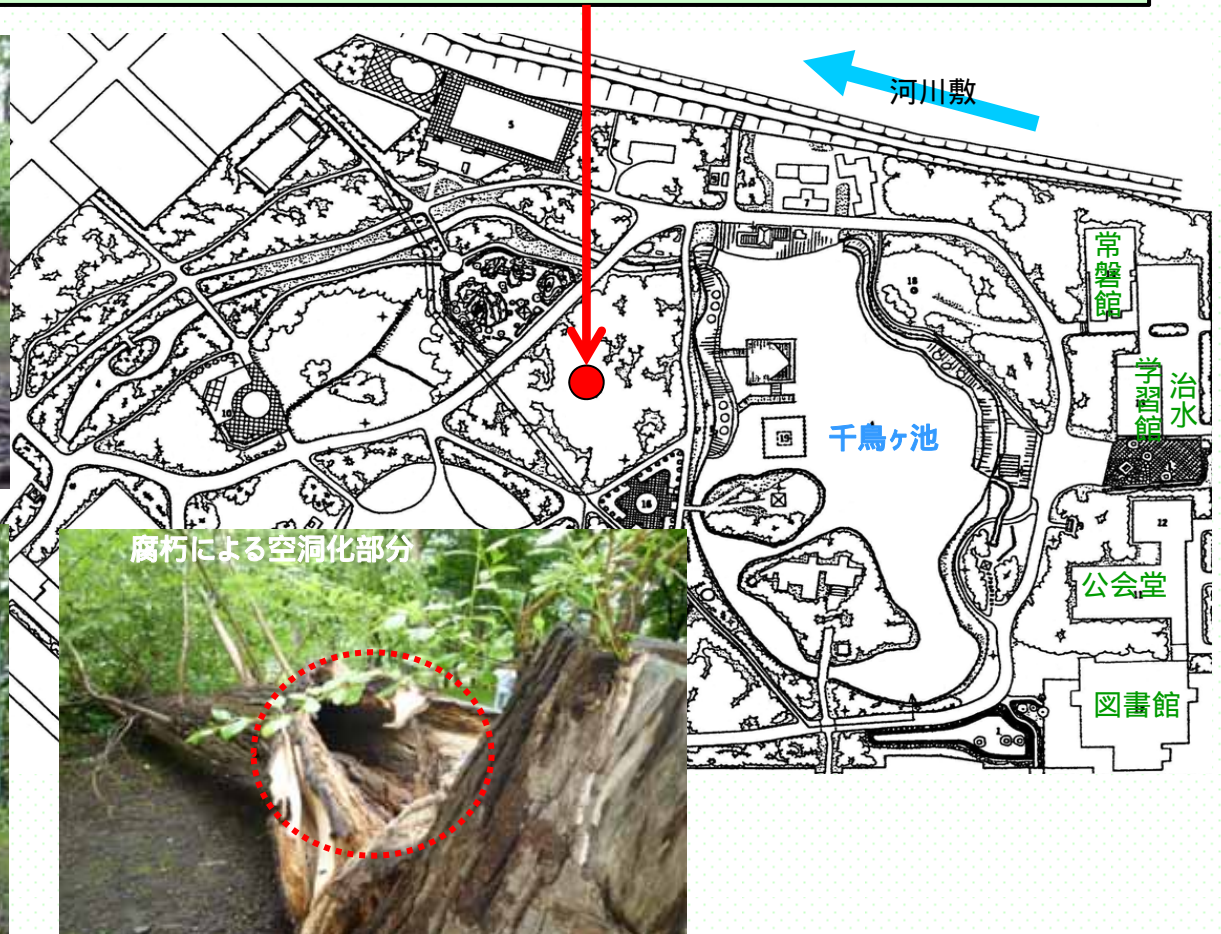
文化芸術ゾーン整備方針と緑の計画に基づき, 常磐築堤の緩傾斜化範囲・形状や保全する樹木の検討

「常磐公園改修事業基本計画」策定
(河川空間含む)

常磐公園の倒木と今後の対応について

倒木について

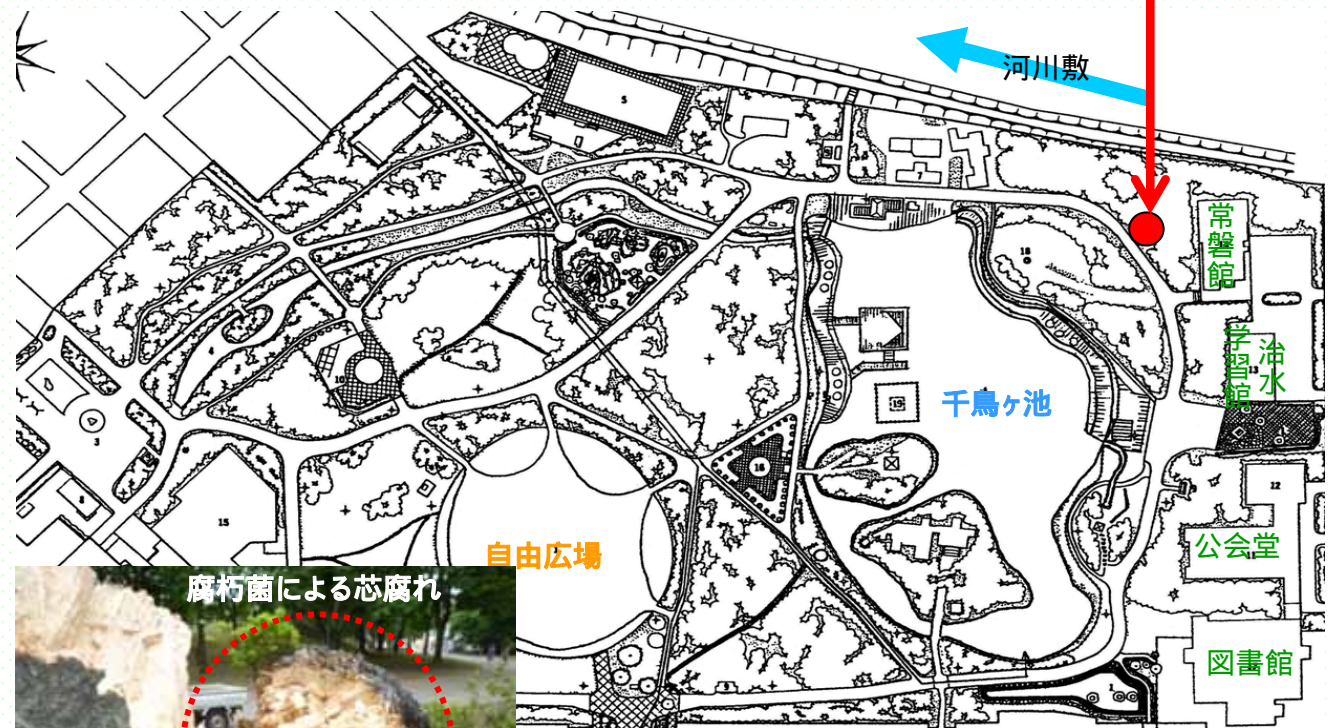
6月23日AM6:40頃, 天候: 小雨, ドロノキ(樹高約20m, 幹径97cm, 樹齢80~100年)
根元部分から倒壊しており, その要因としては根元から斜めに傾き生長し樹形バランスが悪く根元部分が腐朽により空洞化していたためと見られる



常磐公園の倒木と今後の対応について

倒木について

7月4日PM(市民からの通報16:00), 天候:晴れ, ミヤマザクラ(樹高6m, 幹径27cm)
地上高1.5m部分からの幹折れが発生し, その要因としては腐朽菌による芯腐れと見られる
この樹木は再点検により, 要伐採と判定されていた



常磐公園の倒木と今後の対応について

倒木と再調査について

枝振りや葉の繁茂状況から生理的に活発である樹木についても、幹の傾斜や曲がりなど、樹形のバランスによっては、空洞化や芯腐れといった部分的欠陥から、倒木する可能性が非常に高くなると考えられる。よって枯れ木や半枯れといった衰退状況だけでなく、樹形や、腐朽菌類等による幹の腐れ、空洞化の状況などを再点検し倒木の危険性について総合的に判断した。

昨年度の調査の結果から伐採が望ましいと判定された樹木
+ 樹形が悪く、幹の腐れや空洞化が確認された樹木

対象約620本

再点検を実施

約290本 - 倒木の恐れ

約200本 - 早急な対応が必要

約90本 - 監視及び経過観察

約50本 - 園路付近のため、立入規制が困難

約150本 - 立入規制し、周囲の安全確保

対応

常磐公園は大規模イベントの会場としても使用されており、多くの来場者もあることから、公園利用を規制することなく、利用者の安全安心を確保するため、特に園路付近にある危険樹木については、早急に緊急的な伐採措置が必要なため、花火大会開催日を目処に、公園内の園路周辺にある約50本の危険樹木の緊急伐採を実施

加えて、常磐公園に隣接する堤防の危険樹木24本については、河川管理者により緊急伐採

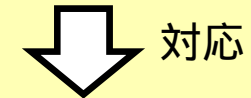
常磐公園の倒木と今後の対応について

今後の対応について

今後の対応

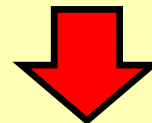
立入規制している約150本の樹木

その他の樹木



本年度中に樹木医等による**2次診断**を進め、危険性のある樹木の状況を十分に把握した上で、必要な措置を検討すると共に、こうした樹木の計画的な維持管理や更新が必要

樹木台帳を基に、市民の方々の協力を得ながらパトロールをし、**経過を観察**しながら、その危険性や状況に応じて、順次、調査を行う
将来を見据えた**後継木**の育成を進める



今後の課題

緑の計画の方針に基づいて、**適切な維持管理**と計画的な更新を進めていくため、より具体的な**実行計画**が必要

パブリックコメント結果

概要

意見提出期間:平成24年6月18日～7月17日まで
意見提出者:86人

主な意見と市の考え方

- ・今ある緑,樹木を大事にしてほしいという意見 : 約50件
 - ・老木,危険木は伐採し,時間をかけて更新をしてほしいという意見 : 約25件
- ・本計画では,常磐公園の緑に求められる機能を踏まえ緑を守り育てるための「緑の計画」をその大きな柱に位置づけている。
- ・今後は,この緑の計画に基づき,安全性や快適性,景観,生態系に配慮し,樹木の状況を確認しながら適切な維持管理を行っていく。
- ・その他にも,危険性のある樹木を伐採する場合には更新木を植樹し世代交代を進めていくなど,将来のあるべき姿を見据え,時間をかけながら緑の量の確保と質の向上を図っていく。

パブリックコメント結果

主な意見と市の考え方

・市民協働等，今後の維持管理への意見：約10件

・ 緑の計画の策定後においては，その実現を図るため，より具体的な実行計画が必要であることから，樹木医の意見や，いただいたご意見を参考にしながら，「緑の維持管理・更新計画」を策定していく。

・ また，市民参加による公園づくりの手法や組織づくりなどについても検討を進め，市民との情報の共有化を図りながら，市民協働による維持管理の実践と共に，いつまでも市民に親しまれ心が癒される公園づくりを目指す。

・河川空間整備への意見：約15件

河川空間の整備については，今後，この「緑の計画」に基づき，保存すべき樹木を見極めながら，専門家による検討を進めていく予定となっており，その際にいただいたご意見も参考にしていく。

・ゾーニングや個別計画への意見：約10件

・駐車場などの利便性の改善に対する意見：約5件

・ソフト面の施策の提案等：約5件

計画の変更点(事務局案)

緑の計画への加筆・修正点

P20 常磐公園の緑の基本方針

常磐公園の緑に求められることを基にした、基本的な4つの観点から、樹木の選定と配置に関する8つの方針を定め、それらに基づき、将来のあるべき姿を見据え、時間をかけながら緑の量の確保と質の向上を図り、緑の更新や維持管理を進めていきます。

緑の計画は、樹木を伐採することを主目的とするものではなく、将来へ質の高い緑を守り育ていくための計画であり、今の緑を大切に、時間をかけながら、将来の姿を見据えた計画的な更新を進めることを明確とするため加筆

P29 維持管理に関する考え方

また、貴重な樹木に対しては、貫入抵抗測定器「レジストグラフ」等の使用や生長錐を抜くことで、幹の内部診断をするほか、樹木医や樹木の専門家等によるさらに精密な診断や判定をする必要があります。

今ある樹木、緑を大事にしていくことや常磐公園内で発生した倒木を踏まえ、今後は状況に応じて樹木医等による2次診断を行うなど、樹木の状況を十分に把握した上で、危険木について必要な措置を取っていく必要があることから加筆

計画の変更点(事務局案)

緑の計画への加筆・修正点

P30 市民協働の維持管理

「(仮称)緑の維持管理・更新計画」の策定

この「緑の計画」では、将来に向けた質の高い緑を守り育てていくための基本的な方針を示していますが、今後、この方針に基づいて、適切な維持管理と計画的な更新を進めていくためには、より具体的な実行計画が必要になります。そこで「(仮称)緑の維持管理・更新計画」を策定し、市民協働による維持管理の実践から、常磐公園の緑の量の確保と質の向上を図っていきます。

パブリックコメントの総論として、緑への関心が高く今後の維持管理強化が強く望まれており、老木・危険木への処置と適切な更新や市民協働等による適切な維持管理を求める意見も踏まえ、今後は具体的な実行計画を作り、市民と情報の共有化を図りながら、一体となって維持管理や緑の更新を進めていく必要があることから加筆。

パブリックコメントにていただいた、より具体的な意見については実行計画の参考とする